

平成 26 年 4 月 16 日

## 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 生物資源学研究科  
氏 名 岡島 賢治

活動テーマ	三重にツルをよぼうプロジェクト（スタートアップ）
実施期間	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>学生・民間企業・教員による組織を構成した。 地域保全工学講座 学部 3 年次生 13 名 民間企業（三重テレビ放送） 1 名 地域保全工学講座 教員 6 名</p> <p>勉強会を行った。 第 1 回 2013 年 6 月 17 日 第 2 回 2013 年 7 月 26 日 第 3 回 2013 年 11 月 7 日</p> <p>その他の活動として、以下のことを行った。 ・平成 25 年度 「すごいやんか三重のいなか CM コンテスト」 3 作品応募 2013 年 11 月 8 日 動画講習会（講師：岡島） 2013 年 12 月 6 日 ツル動画報告会 2013 年 2 月 14 日 結果報告会（趣旨とは合わず落選）</p> <p>・現地調査 2014 年 2 月 25 日 伊勢市東大淀、鹿海現地調査（土地利用、植生） 調査員 1 班：古田麻奈・小庵雅史 2 班：工藤舞子・松本亮輔 3 班：吉田衛・谷永瑞季・渡辺幸治</p> <p>・報告書作成 2014 年 3 月 20 日 報告書作成 2014 年 3 月 28 日 報告書上梓</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり） 三重県にツルの越冬地を作るという目的のため、本年度はその候補地の検討を行った。候補地の検討に当たっては、①鶴の生態、②歴史的な</p>

背景、③候補地の環境条件についての勉強会をとり行い、構成員のツル越冬地に関する知識の向上に努めた。

以上を踏まえ、④現地調査、⑤候補地の絞込みを行い、三重県伊勢市宮川河口域が有力な候補とすることができた。

次年度以降、より詳細な現地調査と、伊勢市との連携の模索が期待される。

### (3) 共同実施者との連携状況

本事業では、三重県農林水産部農業基盤整備課を共同実施者とした。本年度の活動において、共同実施者が企画する平成25年度「すごいやんか三重のいなかCMコンテスト」に参加し、本事業をPRするCMを製作、応募した。

また、現地調査等で得られた知見を、報告書の形にまとめ、共同実施者に報告した。

### (4) 大学の教育・研究成果のかかわり

本事業は、学部学生と教員が同じ立場でひとつのことに取り組むという体制を作り、学生主体で活動を実施した。その結果、自ら考え学習し成果を発表するという「4つの力」の発展形として、一つの目標に向かって企画、実行するときの困難などを学生は感じたようだ。

また、参加した学生からは農業農村工学分野の学問への興味喚起を促し、研究および就職活動において農業農村工学分野をアピールできるようになったという意見が得られた。

### (5) イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）

本年度の成果を踏まえ、次年度市民向けの講演会を企画中である。



写真 現地調査の様子